



Title	BUCH=SCHUMUCH (本の装訂意匠)
Author(s)	浜野, 節朗
Citation	デザイン理論. 1979, 18, p. 42-47
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53692
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

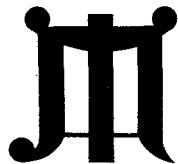
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



BUCH-SCHUMUCH

(本の装訂意匠)

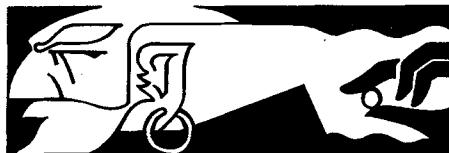


の装訂に関しては、我国に洋装の技術が普及した明治中期より、多くの人々によって様々な美しい本が造られ世に贈り出されてきた。

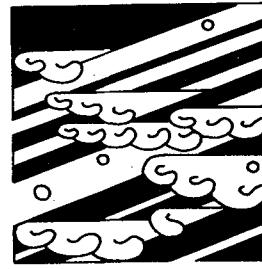
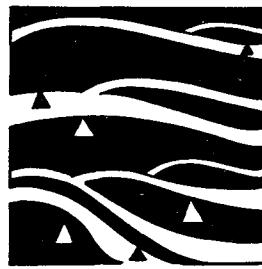
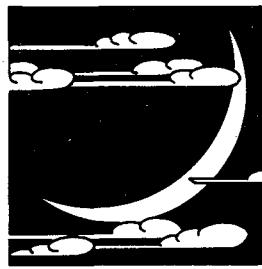
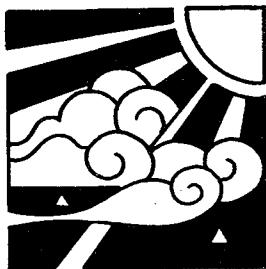
造本作业のうちで、本文の字組や割付けと同時に最もグラフィックな能力を要求するのが装飾のデザインである。挿画としてあらかじめ本文中に、しかるべき空间を割譲されている場合を除いて、その多くは極めて限られた空间に最も効果的にしかも本文と调和して用いられる。さらに表现の动机は本文の主题に基づき、表现の様式は终始一贯しなくてはならない。色彩も印刷上の制约から、特殊な場合を除いては单色、又は2度刷りで扱われる事が多い。

ここで誌上発表する仕事は、私があるプライベートプレスをイメージして意匠したものの一节で、主题は欧洲の妖精譚である。2度刷りを前提として意匠したもので、スミ版しか御绍介できないのが残念である。

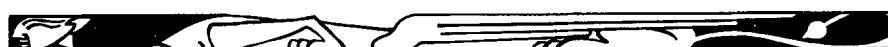
□ タイトルヘッドの装飾

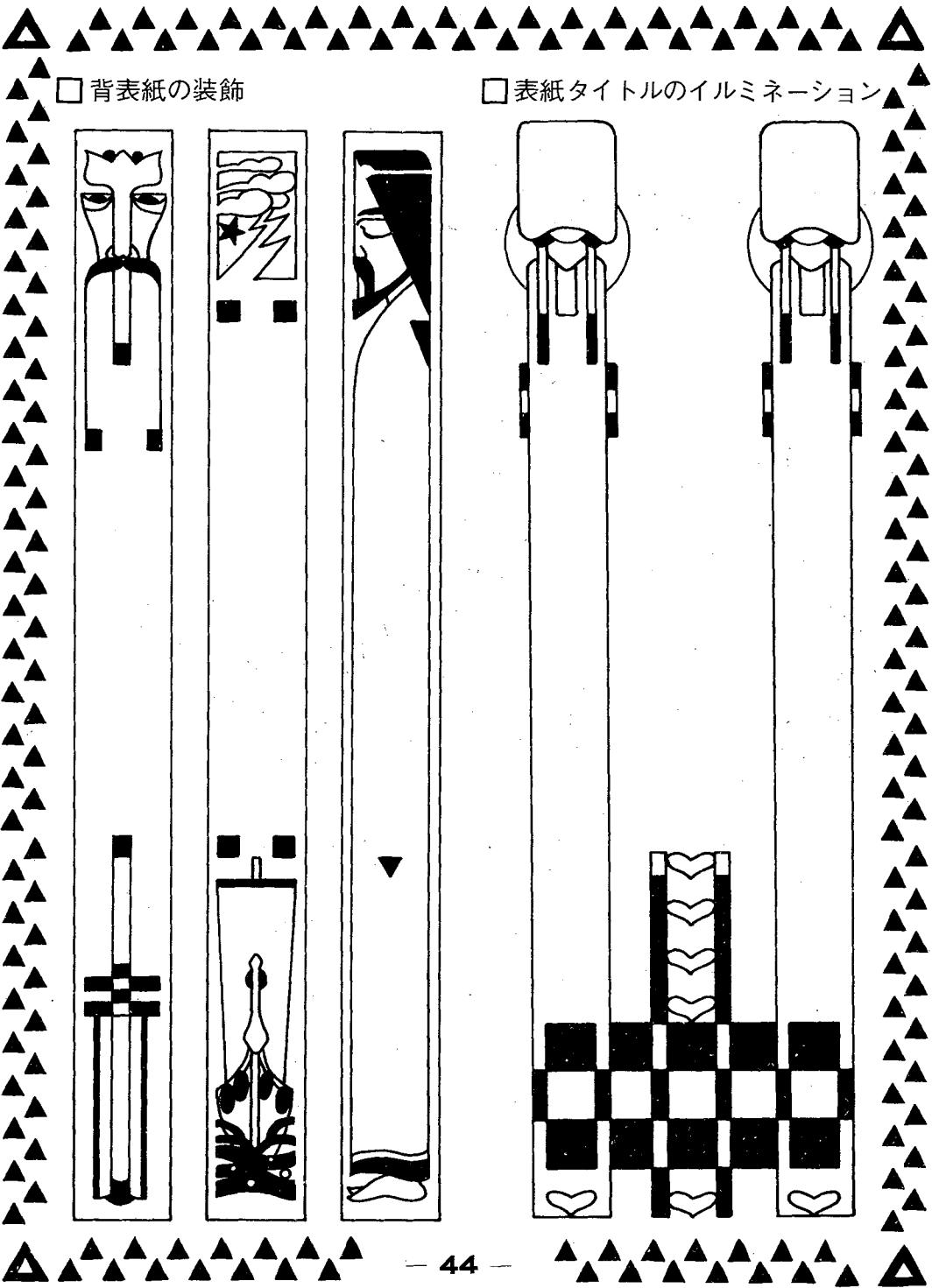


□ 章頭の装飾



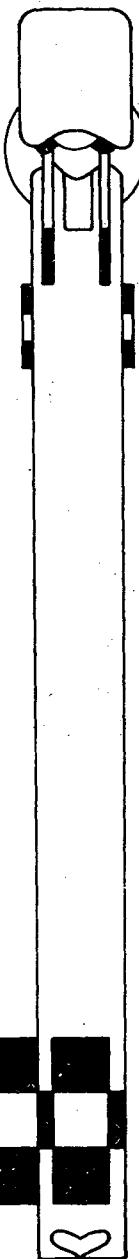
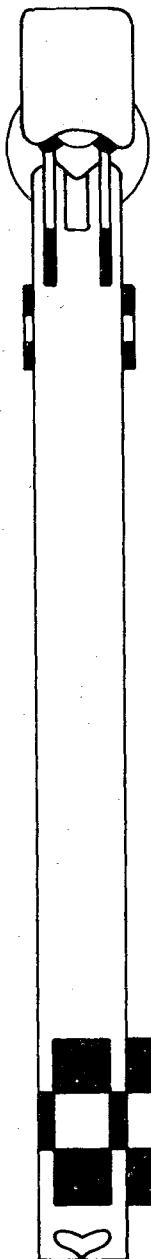
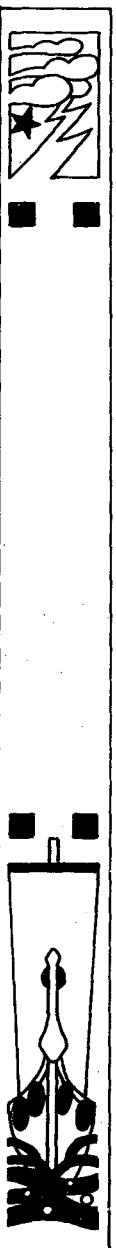
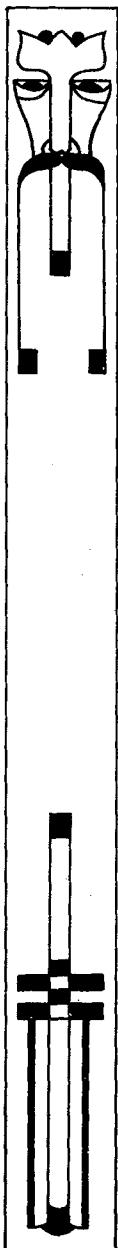
□ 本文天地のイルミネーション



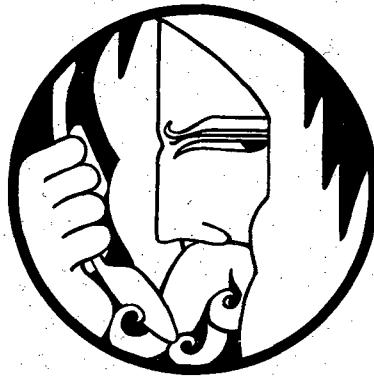


□ 背表紙の装飾

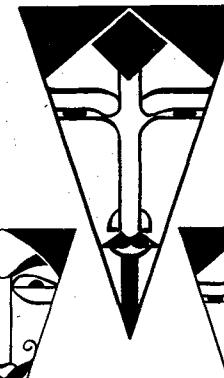
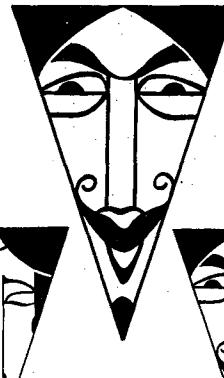
□ 表紙タイトルのイルミネーション

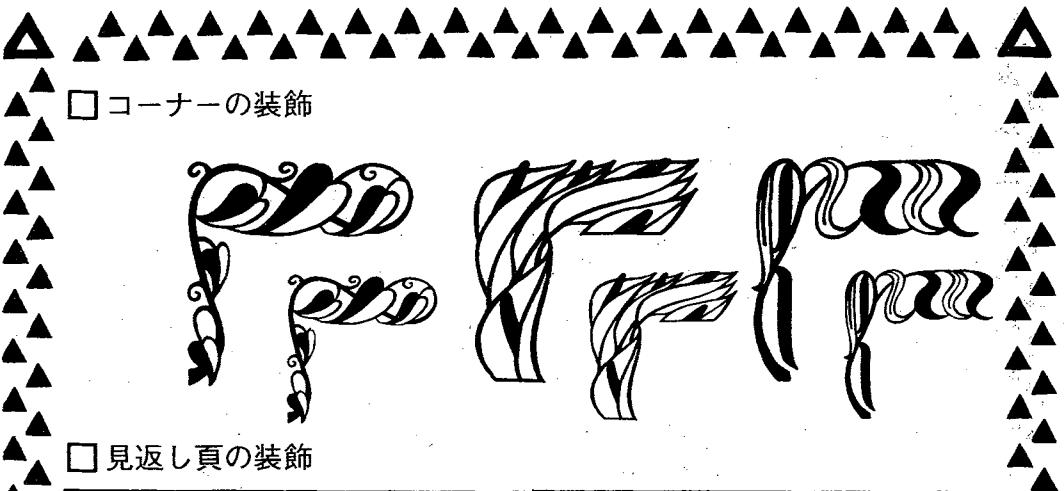


△ □ 裏表紙のスポット装飾

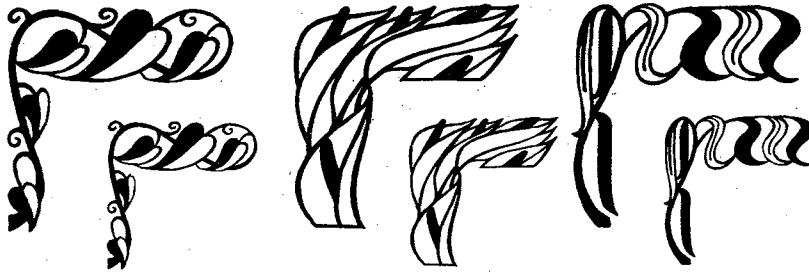


□ 卷尾の装飾

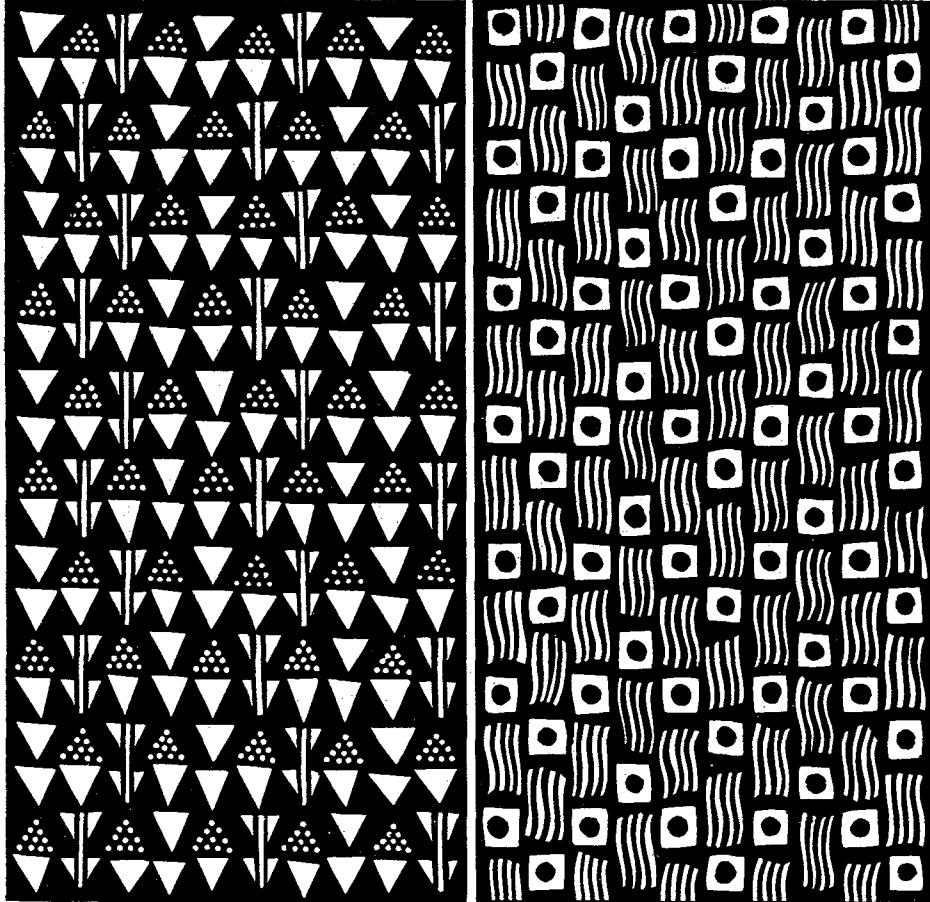




□コーナーの装飾



□見返し頁の装飾



□ 藏書票のデザイン

